

横須賀市男女共同参画と性の多様性についてのアンケート調査

ご協力をお願い

このたび、横須賀市（市民部人権・男女共同参画課）では、現在の「第5次横須賀市男女共同参画プラン」の推進状況を評価するとともに、次期プランの策定の基礎データとするため、市内にお住いの皆さまにお願いし、「男女共同参画と性の多様性についてのアンケート調査」を行うこととしました。

お答えになりにくい設問もあるかと思いますが、将来の市の施策立案における基礎となるデータを集めるための設問になっております。アンケートへの回答は任意ですが、おひとりおひとりの状況をできるだけ正確に結果に反映するために是非ご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

○アンケート調査について

- ・調査は無記名で実施します。回答者が特定されることはありません。
- ・調査票は、住民基本台帳（2021年7月1日現在）から無作為に抽出した15歳以上の2,000人の皆さまにお送りしています。
- ・調査結果は、後日、ホームページなどで公表します。

○回答方法について

- ・調査票（この冊子）にあてはまる番号に○を付けてください。
- ・調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。
- ・表紙（この紙）は取らずに、このまま投函をお願いします。

設問数 32問 14ページ （所要時間 約30分）

8月31日(火)まで に、ご回答（ご投函）をお願いします。

●アンケートに関するお問い合わせ先●	
☎ 046-822-8228 月～金 8:30-12:00/13:00-17:00	✉ we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
〔調査主体〕 横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課	



令和3年度 横須賀市男女共同参画と 性の多様性についてのアンケート調査【調査票】

・ご記入にあたって

- ①設問は、選択肢の中からお自分の考えに最も近いものを選ぶ「選択式」です。
あてはまる番号を選んで○で囲んでください。
- ②設問によっては、1つではなく複数の選択肢を選んでいただく場合があります。
- ③設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。
各設問の注意書きをよくご確認の上、お答えください。

はじめに、あなたのことをお聞かせください。

①から⑥の項目ごとに1つずつ選んで番号に○をつけてください。

①性別※	1 男性 2 女性 3 回答しない 4 その他
②年齢	1 15歳～19歳 2. 20～24 歳 3. 25～29 歳 4. 30～34 歳 5. 35～39 歳 6. 40～44 歳 7. 45～49 歳 8. 50～54 歳 9. 55～59 歳 10. 60～64 歳 11. 65～69 歳
③働き方等	1 正社員・正職員 2 契約・派遣社員 3 パート・アルバイト 4 自営業 5 家事専業・無職 6 学生 7 その他
④結婚はしていますか	1 している（事実婚・パートナーシップを含む） 2 していない（離別・死別含む）
⑤中学生以下のお子さんはいますか	1 いる 2 いない
⑥同一世帯に介護が必要な家族（配偶者以外）はいますか	1 いる 2 いない

※①多様性の視点から、選択肢に「回答しない」「その他」を設けています。身体上・戸籍上の性別に関わらず、ご自身が認識されているもの（性自認）に○をお願いします。

1 男女共同参画（社会）に関する考え方

問1 次の(1)～(5)に掲げる言葉を知っていますか。それぞれ1つ選んでください。

	言葉の意味も含めて知っている。	聞いたことはあるが意味までは知らない※	聞いたこともないし意味も知らない※
(1) 男女共同参画	1	2	3
(2) ジェンダー (gender)	1	2	3
(3) ダイバーシティ (diversity)	1	2	3
(4) 持続可能な開発目標 (SDGs)	1	2	3
(5) ジェンダー・ギャップ指数	1	2	3

※別紙「用語解説」をご覧ください。

問2 わが国では、以下の各場面で、男女は対等に活躍している、あるいは男女共同参画が進んでいると思いますか。①から⑩の項目ごとにあなたの考えに最も近いものを1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 社会全般の風潮	1	2	3	4
② 法律・制度での扱い	1	2	3	4
③ 政府や企業での重要な意思決定の場	1	2	3	4
④ 学校生活などの教育の場	1	2	3	4
⑤ 就職の機会、職場での働き方や処遇	1	2	3	4
⑥ 家庭内での決定権や家事・育児の分担	1	2	3	4
⑦ 町内会・自治会の活動	1	2	3	4
⑧ PTAやボランティアなどの地域活動	1	2	3	4
⑨ テレビや新聞での扱われ方	1	2	3	4
⑩ 人生を決める選択肢や自由さ	1	2	3	4

問3 あなたの身のまわりで男女共同参画は進んでいると思いますか。どちらか1つ選んでください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 進んでいる | ⇒問5へお進みください。 |
| 2 進んでいない | ⇒問4へお進みください。 |

(問4は、問3で「2 進んでいない」と回答した方だけお答えください)

問4 男女共同参画がなかなか進まない理由として、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 人を性別によって役割を区別する考え方や慣習が根強いから
- 2 女性は意思決定の場への進出が遅れていることで発言力が弱いから
- 3 女性の役割は家庭内での家事、育児、介護などという考えが強いから
- 4 社会全般に男性優位の考え方や慣習が根強いから
- 5 女性は職業能力を高める機会や意思決定の場に出るための経験が不足しているから
- 6 仕事と家庭の両立が図れる行政サービス、民間サービスが不足しているから
- 7 その他()

2 生活の中での男女共同参画について

問5 次の①から⑤のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
① 女性は子どもを産む／産まないを選ぶ権利を持っている。	1	2	3	4
② 男性は外で仕事をし、女性は家庭を守るべきである。	1	2	3	4
③ 結婚したら夫の姓を名乗るべきである。	1	2	3	4
④ 男でも女でも必ずしも結婚する必要はない。	1	2	3	4
⑤ 離婚に対してマイナスなイメージがある。	1	2	3	4
⑥ 同性のカップルが養親や里親になってもよい。	1	2	3	4

(問6は、現在、夫婦(事実婚を含む)で暮らしている方だけお答えください)

問6 家事などは誰が日常的に担っていますか。また、理想ではどうしたいと考えていますか。①から⑩の項目ごとに1つずつ選んでください。

⑤から⑩は、該当しない場合(お子さんや介護・看護する方がいない場合)はその他・該当しないを回答してください。

	(1) 現在の担い手						(2) 理想の担い手					
	夫と妻で分担協力	主に妻	主に夫	夫と妻以外の家族	外部サービスを利用	その他・該当しない	夫と妻で分担協力	主に妻	主に夫	夫と妻以外の家族	外部サービスを利用	その他・該当しない
①炊事	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
②洗濯	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③掃除	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
④日常の買い物 (食料品、日用品など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑤子どもの身のまわりの世話	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥子どものしつけ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦保育園・幼稚園、習い事 などの送迎	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧子どもと遊ぶ、勉強などを 教える	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑨高齢者や障害者、病人の 介護・看護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑩地域活動 (自治会、PTAなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

(全員、お答えください)

問7 家庭での子どもの教育やしつけについて、あなたの考えに最も近いものを項目ごとに1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①職業や結婚などの人生設計に対する助言は性別により 区別するべきである	1	2	3	4
②男の子は男らしく強く、女の子は女らしく心優しく育て るべきである	1	2	3	4
③食事の支度や洗濯など日常的な家事は性別を問わず、 身に付けさせるべきである	1	2	3	4
④家庭での子どものしつけや教育は母親の責任で行うべ きである	1	2	3	4

問10 女性が長く働き続けるためにはどのようなことが特に重要だと思いますか。
 あてはまる番号を3つまで選んでください。

- | | |
|----|---|
| 1 | 賃金・昇給・昇進・昇格等の男女間の格差解消 |
| 2 | 育児・介護休業制度等の充実 |
| 3 | フレックスタイム※・オンライン・テレワーク・在宅勤務など柔軟な勤務形態の導入 |
| 4 | 保育サービス（早朝・延長・休日・夜間・病後児・乳児保育等）の整備の充実 |
| 5 | 介護サービス・施設等の整備の充実 |
| 6 | 結婚・出産・育児・介護等のために退職した社員の再雇用制度の充実 |
| 7 | 女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力 |
| 8 | 女性自身の自覚、意欲・能力の向上 |
| 9 | 男性の意識の変化 |
| 10 | その他（ ） |
| 11 | 特にない |
| 12 | わからない |

※フレックスタイム：総労働時間だけを決め、出退勤の時刻は労働者の自由に任せる制度。

問11 政治、経済、地域社会において、重要な決定を行う話し合いの場に女性の割合を増やそうとする取り組みが進められています。次の①～④について、あなたの考えに最も近いもの項目ごとに1つ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①国会議員や地方議会議員で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4
②各官庁や県、市などの行政組織における意思決定をする役職で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4
③民間企業における意思決定をする役職で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4
④町内会・自治会や学校のPTAにおける意思決定をする役職で、女性の割合がもっと高くなってほしい。	1	2	3	4

4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問12 性別を問わず仕事と生活を両立できるようにする公的な取り組みとして、あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 社会全体に対する意識づくり |
| 2 | 職場における差別禁止のための制度の強化 |
| 3 | 両立支援のための制度の強化 |
| 4 | 企業、事業所に対する環境整備の働きかけ |
| 5 | 出産や育児、介護等に関するサービスの充実 |
| 6 | 就職や復職、起業に対する支援 |
| 7 | その他（ ） |

問13 育児や介護を行うために、あなたが育児休業・看護休暇・介護休業・介護休暇を取ったことがありますか。①から④の項目ごとに1つずつ選んでください。また、最近10年以内に育児休業を取得したことがある男性のみ、取得期間をご記入ください。

	ある	ない
①育児休業（原則として、1歳未満の子を養育するための休業）	1	2
②看護休暇（小学校就学前の子の看護のための休暇）	1	2
③介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業）	1	2
④介護休暇（要介護状態にある家族を短期に介護するための休暇）	1	2

（最近10年以内に育児休業を取得したことがある男性のみお答えください）

最近10年以内に、育児休業を取得した期間をご記入ください。複数回取得された場合は、直近の取得期間についてご記入ください。

育児休業を取得した期間＝ _____ 日間・週間・カ月間・年間
 （期間の単位のどちらかに○を付けてください）

5 男性中心型労働慣行の是正について

問14 男性が育児休業や介護休業などを取ることについて、あなたの考えに最も近いものを、①～④の項目ごとに1つずつ選んでください。

	積極的に取るべき	どちらかといえば、取る方がよい	どちらかといえば、取らない方がよい	取るべきではない
①育児休業	1	2	3	4
②看護休暇	1	2	3	4
③介護休業	1	2	3	4
④介護休暇	1	2	3	4

問 15 育児休業や介護休業を取る男性は、女性に比べて少ないのが現状です。
その理由について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 職場の理解を得られないから
- 2 職場の同僚に申し訳ないと思うから
- 3 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
- 4 休業後の職場復帰に不安があるから
- 5 仕事の量が多いから
- 6 仕事の責任が重いから
- 7 休業中は収入が少なくなり、家計を維持できないから
- 8 女性の方が育児や介護に向いているから
- 9 その他 ()

問 16 今後、性別を問わず家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくために、最も必要だと思うものを1つ選んでください。

- 1 職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくる
- 2 労働時間短縮や休暇を取りやすくすることで、仕事以外の時間を多く持てるようにする
- 3 男性自身の家庭生活や地域活動に参加することに対する抵抗感をなくす
- 4 社会の中で、男性が家庭生活や地域活動に参加することに対する評価を高める
- 5 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る
- 6 男性は積極的に参加する必要はない
- 7 早い時期（中学、高校）での教育
- 8 その他 ()

6 性別等に基づく人権侵害（DV、セハラなど）について

問 17 「人権が侵害されている」とあなたが感じるのはどのような場合ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | |
|--------------------------------|------------------|-----------|
| 1 買春・売春・援助交際 | 2 性風俗店 | 3 ストーカー行為 |
| 4 夫や恋人からの暴力 | 5 レイプ | 6 痴漢 |
| 7 雑誌や広告のヌード写真 | 8 職場や学校、地域でのセクハラ | |
| 9 ミス・コンテスト | 10 職場での男性との待遇の差 | |
| 11 家事負担が女性にかたよっていること | | |
| 12 「婦人」「未亡人」「女流」など女性にだけ用いられる言葉 | | |
| 13 スポーツ競技の性的画像 | | |
| 14 その他 () | | |

問 18 最近5年以内に、職場や学校、地域などで、①から⑧の行為をされてあなた自身が不快な思いをした、または家族や友人で不快な思いをした人を知っていますか。それぞれ1つずつ選んでください

	自分自身として		自分以外のこととして	
	あ	な	知っている	知らない
①不必要に体を触られた	1	2	3	4
②交際や性的関係を迫られた	1	2	3	4
③交際や性的関係を拒否した人から不当な扱いや嫌がらせをされた	1	2	3	4
④宴会でお酌やデュエットを強要された	1	2	3	4
⑤性的なうわさを流された	1	2	3	4
⑥年齢や容姿のことで不愉快な意見や冗談を言われた	1	2	3	4
⑦異性との交際関係や結婚、出産についてたびたび聞かれた	1	2	3	4
⑧性的な冗談や会話につきあわされた	1	2	3	4

問 19 セクハラをなくすためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。あなたが最も重要だと思うものを1つ選んでください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1 公的機関の相談や指導の強化 | 2 民間ボランティア団体等のチェックや相談 |
| 3 事業所内でのチェックや相談 | 4 セクハラを禁止する法律や条例などの強化 |
| 5 セクハラは人権侵害だという社会意識づくり 6 その他 () | |

問 20 配偶者や恋人など親しい間柄における暴力(DV)は、一般社会における暴力と同様の加害行為であると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- | |
|-----------------|
| 1 そう思う |
| 2 どちらかというそう思う |
| 3 どちらかというそう思わない |
| 4 そう思わない |

問 21 配偶者や恋人など親しい間柄における暴力(DV)について、相談できる機関としてあなたが知っているものをすべて選んでください。

- | | | |
|------------------|----------------|-----------------|
| 1 警察 | 2 市役所 | 3 配偶者暴力相談支援センター |
| 4 かながわ男女共同参画センター | 5 民間支援団体 | |
| 6 法務局(人権擁護委員) | 7 相談できる機関を知らない | |

問25 現在、性的マイノリティ※（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかと言えばそう思う
- 3 どちらかと言えばそう思わない
- 4 そう思わない

※性的マイノリティ：同性が好きな人や、自分の性別に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のこと。

問26 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

- 1 行政が市民等へ周知啓発を行う
- 2 相談窓口等を充実させ、その存在を周知する
- 3 生徒や市民への対応を想定し、小中高などの学校教員や行政職員への研修等を行う
- 4 法律等に、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する
- 5 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う
- 6 働きやすい職場環境づくりの取り組みをする
- 7 わからない
- 8 その他（ ）

問27 あなたの身の回りに性的マイノリティの方はいますか？（複数回答可）

- 1 家族や親族にいる
- 2 友人や知人にいる
- 3 学校や職場にいる
- 4 街などで見かけたことがある
- 5 周囲にはいない（知らない）
- 6 その他（ ）

問28 身の回りに性的マイノリティの方がいたらどう思うかを1つ選んでください。

- 1 もし困っていたらサポートしたいと思う
- 2 特になんとも思わない
- 3 なんとなく嫌だ
- 4 嫌だ

8 男女共同参画推進のために必要な取組みについて

問 29 男女共同参画社会をつくるために、あなたが最も必要だと思うことを①から④の項目ごとに選んでください。

①個人で心掛けること（1つ選んでください）

- 1 「男らしく」「女らしく」ということにとらわれず、「自分らしく」行動する
- 2 男女ともに独立した人格としての自覚と責任意識を高める
- 3 性別に関する偏見や先入観を持たないように心掛ける
- 4 男女が互いに対等な存在として評価・尊重する意識を持つ
- 5 その他（ ）

②家庭での取組み（1つ選んでください）

- 1 夫婦の関係が対等であるように努力する
- 2 家事、育児、介護は男女を問わず分担し、協力する
- 3 家事や育児の重要性を正當に評価する
- 4 「嫁・姑」「後継ぎ」「墓」「氏」など、家系を中心にした家族観や慣習を改める
- 5 子育てにおいて、性別によって教育やしつけの方針、態度を区別しない
- 6 その他（ ）

③社会全体での取組み（1つ選んでください）

- 1 性別を理由にした差別的待遇を禁止・撤廃する法律を強化する
- 2 性別に関わらず自分の人生を決められるよう、偏見や先入観を排除する
- 3 テレビや新聞、雑誌などで性別による固定的な役割分担に基づいた男女の扱いをしない
- 4 性的な興味の対象として、人を扱わない
- 5 社会活動や政治に、女性がより参画できるような仕組みを作る
- 6 社会活動や政治に女性を積極的に登用し、発言力を高める
- 7 その他（ ）

④横須賀市における取り組み（2つまで選んでください）

- 1 学校教育における男女共同参画教育を進める
- 2 男女共同参画の意識を高めるための情報提供（冊子など）や学習の場（講座など）を充実する
- 3 事業所（会社など）に対して職場における男女格差の是正を働きかける
- 4 事業所（会社など）に対して仕事と家庭を両立しやすい労働条件の整備・改善を働きかける
- 5 多様な保育サービスを充実する
- 6 介護施設、介護サービスを充実する
- 7 女性を対象とした各種相談やDV被害から救済するための体制を充実する
- 8 ひとり親世帯の生活を安定させるための支援を充実する
- 9 男性も女性も地域で活動し、地域とのつながりをつくれるように支援する
- 10 夫婦がともに参加できる家事・育児や介護に関する学習の場（講座など）を充実する
- 11 市役所の責任ある立場に女性を積極的に登用する
- 12 市の施策に関する審議等を行う場に女性の参画を進める
- 13 市役所が率先して模範となることで、男女共同参画の職場づくりを働きかける
- 14 女性の能力・技術を高め、チャレンジをうながすための支援を充実する
- 15 性別に関する人権侵害をチェックし、是正するための制度を充実する
- 16 男女共同参画推進を目的とした市民活動を支援する
- 17 その他（）

問 30 男女共同参画社会を実現していくために、あなたはどんなことができると
思いますか。

（自由記述）

9 新型コロナウイルス禍における影響について

問 31 コロナ禍前と現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響によりあなたやあなたのまわりでどのような変化が起きましたか。「好ましい変化があったもの」「好ましくない変化があったもの」「変化がなかったもの」をそれぞれ次の選択肢から 1つ 選び、また、最も変化があったものの番号をそれぞれお書きください。

	好ましい変化があった。	好ましくない変化があった。	変化はなかった。
①自分や家族の働き方について（雇用形態、就業時間、在宅勤務、仕事内容の変化など）	1	2	3
②自分の生活や行動面について（家事、育児、学習、趣味など）	1	2	3
③配偶者・パートナーとの関係について	1	2	3
④家族（配偶者・パートナーを除く）との関係について	1	2	3
⑤友人・知人との交友関係について	1	2	3
⑥職場環境や学校活動について	1	2	3
⑦自分自身や世帯（家族）の収入、経済面について	1	2	3
⑧自分自身や家族の健康面について	1	2	3

最も好ましい変化があったもの・好ましくない変化があったものの上の番号①～⑧を1つずつお書きください。

最も好ましい変化があったもの	具体的には→ _____ (番号を記入)
最も好ましくない変化があったもの	具体的には→ _____ (番号を記入)

10 アンケート全般について

問 32 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

(自由記入欄)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました

※ご記入がおわりましたら、同封の返信用封筒にて 8月31日（火） までに投函してください。